



学校だより



令和4年 4月 6日
4月号
調布市立第一小学校
校長 川島 隆宏

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> TEL042(481)7636

新年度の出発にあたって

校長 川島 隆宏

いよいよ令和4年度の新学期が始まりました。まずは、お子様の御入学・御進級おめでとうございます。心からお慶び申し上げます。本校では、本年度、新たに119名の新1年生を迎え、全校児童679名、25学級でのスタートとなりました。(昨年度の同時期に比べると39名の児童増となりました。)

この2年間、新型コロナウイルスにより、学校の教育活動も大きな影響を受けましたが、保護者・地域の皆様の御協力と子どもたち、教職員の頑張りで、無事に乗り切ることができました。そうした中、昨年度は、オンライン授業や映像による学習発表会など、新たな取組に子どもたちとともに挑戦した1年でもありました。



今年度の教育活動も当面は感染状況を睨みながらの展開になりますが、昨年度の経験を生かしながら、教職員一同「工夫とチャレンジ精神」をもって教育活動に取り組んでいきます。よろしく御理解、御協力いただきますようお願いいたします。

【目指す学校像】

1 活気に満ちた明るい学校

第一小学校の子どもたちや教職員が日々生き生きと活動し、躍動感あふれる明るい学校でありたい。そのためには、子どもたち一人一人のよさや可能性を見いだし、それを発揮し、活かすことができるようにするための教育活動を展開します。

2 子どもたちに夢と希望を抱かせる学校

子どもたち一人一人が夢や希望をもち、それを大切にし、その夢や希望の実現に向けて努力する学校でありたい。そのためには、教職員自らが夢や希望を追い求めるとともに、子どもたちを励まし支える協働体、組織体としての学校の機能を発揮します。

3 教職員の創意と工夫が生きる学校

120年を超える歴史と伝統を受け継ぎ、第一小学校ならではの教育を行う学校でありたい。そのためには、特色ある教育活動やこれまでの研究の蓄積を踏まえ、さらに創意・工夫を重ねていきます。

4 地域、家庭との連携に努め、地域に開かれた学校

新学習指導要領に掲げられている「社会に開かれた教育課程」をめざし、その基となる「地域に根ざした教育活動」を展開し、地域の人々が誇りとする学校でありたい。そのためには、家庭や地域等との連携、協力を重視し、地域に開かれた学校づくりに取り組んでいきます。

今の子どもたちが大人になる頃は、人工知能が発達し、ロボットが活躍する時代になると言われています。時代がどのように変化しようとも、第一小学校では、自らの頭で考え、自らの言葉で表現・伝え、仲間と協力しながら、自らの力で物事を進めることができる子どもたち、仲間の痛みが分かる子どもたち、世の中のために汗をかくことのできる子どもたちを保護者、地域の皆様と育てていきたいと考えます。

4月の生活目標 **すすんであいさつをしよう**

「気持ちのよいあいさつや言葉づかいをしよう」が第一小学校の重点生活目標です。

4月は、自分からすすんで、はっきり元気よく挨拶ができるように、心掛けてほしいと思います。また、校内でお客様に会ったときも、自分から挨拶ができるように指導していきます。